

市電のふるさと



北海道遺産
Hokkaido Heritage

No.23
2013



特集1 「雪ミク電車2013」が運行されました

新型車両デビューイベント

特集2 「マイレールフェスタ」が行われました

- Topics1 路面電車沿線清掃活動を行いました p4
- Topics2 「冬の装飾電車」が運行されました p4
- Topics3 「2012市電フェスティバル」が開催されました ... p5
- Topics4 スタンプラリーを実施しました p6

グッズ紹介

- ・新型低床車両導入記念乗車券発売
- ・新型車両A1200形ペーパークラフト発売中

お知らせ

- ・市電にICカード「SAPICA」導入!
- ・市電の会賛助会員募集

特集
feature

「雪ミク電車2013」が 運行されました

内覧会当日は、早朝に大雪が降ったため、電車事業所も20センチほどの積雪があり、構内の除雪作業からの準備となりました。

午前中は湿った雪、そして雨も時折降る天候となりましたが、開場前からファンが詰めかけ、待ちに待った内覧会が11時から始まりました。一時は時間制限を設けるなどの対応となりましたが、合計440名のファンが詰めかけ、愛らしくキュートに仕上がった「雪ミク電車2013」のポ



ディをバックに写真を撮ったり、車内では藤田咲さんのアナウンスが流れる中、車内に貼られたポスターを見入るなど、ファンにとってはたまらない時間になったようです。

今回で3回目となる雪ミク電車は、札幌市とクリプトン・フューチャー・メディア(株)以下、「クリプトン社」というが締結したシタイプロモート連携協定のコラボ企画として、初音ミクの冬の北海道の応援キャラクター仕様である「雪ミク」を使用したラッピング電車です。

それでは雪ミク電車の歴史を振り返ってみましょう。

実施期間
平成24年12月16日(日)内覧会
平成24年12月17日(月)～
平成25年3月31日(日)105日間

実施団体
市電の会、クリプトン・フューチャー・メディア(株)、札幌市交通局

内覧会の詳細
10:00～11:00 報道機関向け取材対応
11:00～14:00 一般ファン向け内覧会
来場者数 440名

平成24年度もクリプトン社、札幌市交通局のご協力をいただき雪ミク電車を運行させることができました。今回は和風テイストないちご白無垢Ver.で一層愛らしい雪ミクが、電車ボディいっぱい描かれたラッピングとなりました。この年の雪まつりポスターも和風な趣となり、偶然なのか?これも結ばれた糸で?通じていたのかもしれない。丸みを帯びた212形でしたが、和風の雪ミクと雰囲気もマッチして、関係者も「今までで一番いいかも」と絶賛していました。

また、運行最終日、最終便には30名ほどのファンが乗車し、一つ手前の中央図書館で下車、車庫(電車事業所)に入っていく最後の姿を見送ったというエピソードも。105日間走り続けた「雪ミク電車2013」。期間中事故もなく無事に走り続けた裏側には、日々、電車事業所の技術者によるメンテナンスがありました。また、丸みを帯びた電車へのラッピングは通常の角ばった電車よりはるかに手間がかかり、施工業者さんの技術と経験が必要でした。そういった方々の支えのおかげで運行することができたことに、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

このように、冬の札幌に定着してきた雪ミク電車ですが、気になる乗車率はどうかと言いますと、この冬(2012-2013)は特に雪が多かったため、例年より乗車率が高かったのですが、それを差し引いても乗車人員が多かったとのこと。雪ミク電車の人気がここでも現れていきますね。本当にありがたいことです。



ラッピング作業中の様子



さて、「雪ミク電車2014」の行方は…?



運行初日 すずきの電停にて



内覧会でたくさんのファンが詰めかけました



じっくりと見入るお客様



車内の様子



警備員さんも初音ミクファンです

雪ミク電車の歴史を振り返ってみよう!

雪ミク電車 2011

初音ミクの冬の北海道を応援するキャラクターとして初登場。初音ミクはクリプトン社が開発した音声ソフトで、パソコンに歌詞や音階を入力すると歌いだす、今や世界中で人気のキャラクター。イベント初日は、オープニングセレモニーが行われ、上田札幌市長をはじめ、クリプトン社の伊藤社長、市電の会吉中会長らが参列され、華やかにお披露目となりました。車内アナウンスは、初音ミクの声優藤田咲さんに録音をお願いした特別バージョンとなっており、これは今でも継続しています。

電車は3302形を使用。壁には藤田咲さんのサインも入っています。その後、電車事業所の計らいでサインは亚克力板で覆われ今でも大切に守られているのですよ。

ラッピングは電車ボディの半分から下に施したハーフラッピングでした。この年は、記念のウイズユーカード、円山動物園の年間パスポートとバスケースのセットが期間限定で販売されました。

運行期間は僅か2週間でした。



雪ミク電車 2012

2回目の実施となった雪ミク電車。平成24年12月23日の藻岩山ロープウェイリニューアルオープンとタイアップしたバージョンでした。雪ミク(ふわふわコートVer.)と藻岩山のマスコットキャラクターも一緒に登場。

藻岩山フォレストギャラリーでは初音ミクイベントも開催され、貴重なフィギュアやパネルが展示されました。また、藻岩山リニューアルイベントのスタンプリーを始め、会場の各所に雪ミクが飾られイベントを一層盛り上げ、たくさんの方々が詰めかけました。

電車は3303形を使用。運行期間も平成23年12月19日～平成24年3月30日までとなり、市民の目を惹きつけました。



グッズもたくさん飾られた内覧会



雪ミク2012衣装原案: 葉々香 イラスト・電車デザイン: ぶちでびる
雪ミク2013衣装原案: 虹汰 イラスト: CHRIS 電車デザイン: A to Z
協力: グッドスマイルカンパニー
(C) Crypton Future Media, INC. www.piapro.net

特集
feature

新型車両デビューイベント
「マイルールフェスタ」が
行われました

1988年(昭和63年)に8500形を導入以来、札幌市では25年ぶりとなる新型車両が平成25年3月に納車されました。

早朝、苫小牧港から陸送され午前4時過ぎに車庫に着くころには、まだ暗い中、待ち構えるファンもいたほどで、電車ファンのみならず、関係者にとってもわくわくする瞬間でした。

全運転手の研修や路線での試運転を重ね、5月5日(日)本格的に営業運行となりましたが、それに先立ち、市民の皆様に関近で電車をみていただくこと、お披露目イベントとして「マイルールフェスタ」が南1条西4丁目交差点を会場に5月3日(金・祝)行われました。5月にしては3月



並みの寒さが続き、当日も冷たい雨の降る中でのイベントとなりました。それでも、多くの市民の方にお集まりいただき、午後1時15分、札幌市長をはじめ、中央区長、市電の会会長等によりくす玉が割れるのを待ち、A1200形車両が到着しました。停留場にゆっくりと車両が入ると、待ち構えたファンがフラッシュを光らせ、その後、車内の見学などが行われました。従来の緑のボディから一変し、黒と白の



シンプルな車体に、中は緑色のシートに北海道産の木材を使用した柔らかな雰囲気の内。乗降口は車いすの方や足の不自由な方にも利用しやすいステップになっています。

札幌市では、平成24年4月に「路面電車活用計画」を策定し、路面電車の持つ人や環境に優しい特性を生かし、地域の交通機関としてだけでなく、都心部のまちづくりにも活用することとし、路線の環状化(ループ化)を行うとともに、低床車両の導入を進めることとしました。新型低床車両は、平成27年春のループ化開業までに3両となる予定です。



試乗会が行われました
デビューイベントの翌日、平成25年5月4日(土)に会員プレミアムとして試乗会が行われました。
賛助会員の中から50名の方にご参加いただくことができ、電車事業所を出発し、静修学園前までの一部区間往復で、新車両をバックに写真を撮ったり、車内の空間を楽しんでいただくことができました。
構内には新型車両の乗車待ちとして、8500形が使用され、更に人気不動のM101形、ササフ電車が並べられ、これも電車事業所様のファンサービスだったのではないのでしょうか。

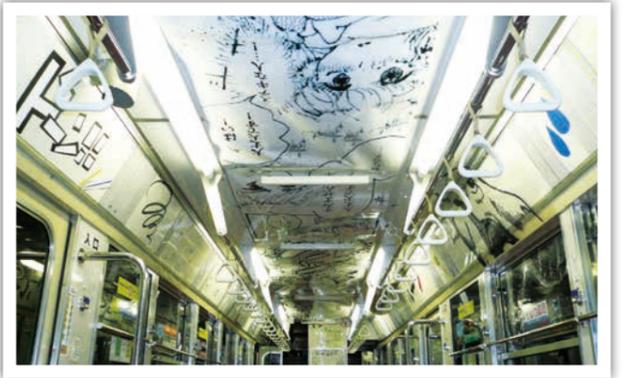
Topics 1
路面電車の日
市電沿線清掃活動が行われました



当日朝は、時折小雨のパラつく不安定な天気でしたが、会員のみなさん笑顔で元気に集まってくださいました。賛助会員14名をはじめ、22名の参加者で今年も市電沿線の清掃活動を行いました。作業は電車や車に気をつけながら、軌道内(線路の溝のごみも拾いましたが、前回より少ないとの声も多く聞かれました。活動中は雨のこともすっかり忘れるほどでしたが、いつの間にか晴れ間も見え始め、終わるころには良いお天気となりました。西8丁目までの清掃活動でしたが、いずれは市電沿線全ての清掃活動も実施してみたいものです(もしくは、この活動をもっと広げていきたいものです)。市電を愛する会員だからこそできるこの活動。これからも続けていきたいと考えております。よさこいソーラン祭りの最終日とあって、街の中は大変な賑わいでした。



Topics 2
「冬の装飾電車」が
運行されました



24年度の「冬の装飾電車」の運行が決まり、作業ボランティアを募集したところ、急なご連絡であったにも関わらず、11名の方にご参加いただきました。今回の装飾電車は「何度も繰り返し乗ってみたいくなるような楽しい市電づくり」をコンセプトに、乗車されるお客様に普段とは違った空間を表現することで、刺激や新鮮な楽しさを味わっていただくという目的で札幌市立大学の学生さんがデザインされました。
集まった会員の皆様は、窓に貼るシールに空気が入ってしまい意外と苦労したり、お客様に扮して実際に座ったりその吹き出しがどんな風



に見えるのか、大学生と一緒にレイアウトを考えながらの活動でした。また、車内に吊り下げるアクリル板を削るなど地道な作業もありましたが、出来上がりの電車を想像しながら楽しく作業に取り組んでいました。
椅子に座ると、まるでその方が話しているかのように「ワーン」「ドキン」「ピカッ」などの吹き出しが、窓にシールで貼られ、無言の車内に言葉が飛び交っているような感覚になります。また、天井にはミニストーリーがマンガで表現されており、車内どこを見ても楽しい装飾になっています。
運行期間は平成25年1月30日(水)から2月28日(木)までの30日間でしたが、雪まつり期間も重なり、道内外からのお客様にも楽しんでいただけたものと思っています。賛助会員のみなさま、今年も寒い中お疲れ様でした。



平成24年8月26日(日)に開催された「2012市電フェスティバル」で、市電の会はブースを設置し、恒例となりました。スタンプラリーを実施しました。

Topics 4 スタンプラリーを実施しました



前年にはお昼前にラリー用紙がなくなってしまうというハプニング(嬉しい限りですが!)がありましたので、今回は配布時間を調整し、参加される皆様がゆとりを持ってラリーポイントを回りゴールできるようにしました。それでも、スタンプ制覇した参加者は最後のお楽しみである抽選会に挑戦するため、テントの前には長蛇の列ができました。景品はリュックサックや携帯マグカップ、市電の模型、オペラグラス、日本ハムファイターズグッズなどで、参加者全員へ市電オリジナルメモ帳をプレゼントさせていただきました。



Topics 3 「2012市電フェスティバル」が開催されました



平成24年8月26日(日)「2012市電フェスティバル」が開催されました。朝方、雨の予報もありましたが、時間が経つにつれ気温が上昇し、8月にしては厳しい暑さでした。

この市電フェスティバルは、市電に対する愛着を一層深めていただくとともに、市電沿線の魅力発信、地域の活性化を図ることを目的に開催されているもので、約8500名の来場者で終始会場はにぎわいました。

「市電の会」も協力参加で、ブースを設置。恒例になったスタンプラリー、水彩画鉛筆画家鈴木周作さんの絵画展・絵はがき販売、そして会のPR、賛助会員の募集などを行いました。スタンプラリーの抽選会、ガラポンは不動の人気。何が当たるのかな? 800名近い参加者の方が豪華景品を目当てにチャレンジしていました。運営には16名の賛助会員にボランティアとして協力していただき、ブースでの受付や会場内でスタンプラリーの誘導整理など、蒸し暑い中、参加者と直接ふれあいながら活動していました。

第一会場では、ササラ電車と写真撮影会、市電と綱引き、市営交通のオリジナルグッズ販売など。第二会場では、露店や縁日といったお祭りならではのコーナーがあり、子どもたちに人気のミニつくくん運行、ゲームコーナーなど盛りだくさんでした。ステージでは地域の方々によるフラダンス、太鼓、吹奏楽などが披露され、一層会場を盛り上げていました。ま

グッズ紹介

新型低床車両導入記念乗車券

(問合せ:札幌市コールセンター 011-222-4894)

平成25年5月に路面電車の新型低床車両が導入されたことを記念して、記念乗車券を発売しています。硬券タイプの乗車券が4枚セットになった乗車券です。使ってもよし、記念として台紙に飾っておくのもよし。あなたのコレクションのひとつにいかがですか。

「大通駅定期券発売所」のみで限定販売(郵送のお申し込みはお受けできません。)

販売価格 600円



出来上がり作品例

作って飾ろう! 新型車両 A1200形ペーパークラフト

(問合せ:トローライン(株) 011-212-1903)

市電の会賛助会員でもあるトローライン(株)から新型車両A1200形のペーパークラフトが発売されました。ご自身で組み立てるキットでお子様でも簡単に作ることができます。(全長約21cm) 新型車両に親しみきっかけにいかがですか。

販売価格 500円

沿線にゆーす

山鼻地区で「市電フォーラム」が行われました。

札幌市中央区山鼻地区は市電の沿線にあり、市電は山鼻の歴史とともに歩んできた乗り物とも言えます。その山鼻地区では平成18年から「市電フォーラム」を開催し、独自のまちづくりの推進に力を入れています。平成24年度は、児童会館の児童たちに市電に親しんでもらおうと、普段みることのできない車両基地の見学などを行いました。

貸切電車に乗った子供たちは、電車事業所職員によるクイズ大会に参加したり、ササラ電車見学、運転席体験搭乗などをして楽しみました。

路面電車沿線活性化協議会では毎年、四番街まつりに合わせて「市電カフェ」を実施しています。

(問合せ:札幌大通まちづくり株式会社 011-211-1185)

西4丁目から西15丁目までの往復で、車内ではスターバックスコーピーの試飲を楽しみながら電車に揺られ、街並みを楽しむというものです。毎年7月の1週目の土日に運行されています。今年の予定 7月6日(土)、7日(日)(予定)

た、乳幼児昔あそびコーナーやおむつ替え場所、更には一般の方々への休憩所も設けられるなど、お越しいただく全ての方に快適にお過ごしいただく体制が整っております。

このイベントを通して、地域の方のみならず、たくさんの方に市電を見て触れて知っていただき、市電の魅力を発信できればと思い、「市電の会」としても今後に関わっていきたいと考えています。

「2012市電フェスティバル」

主催:札幌市交通局、(一財)札幌市交通事業振興公社、札幌市中央区
共催:山鼻未来ネットワーク協議会
協力:札幌市交通労働組合、市電の会



市電の会ブース



賛助会員呼びかけするスタッフ



ミニつくくん



鈴木周作氏 絵はがき販売



市電と綱引き

お知らせ1 市電にICカード『SAPICA(サピカ)』導入!

平成25年6月22日(土)から、市電でもSAPICAが使えるようになりました。

市電での使い方は、降車時に運賃箱のカード読み取り部にタッチするだけ!地下鉄との乗継割引も自動的に適用され、カード残額が少なくなった場合は、チャージ^{※1}することで繰り返し利用できます。

発売額は、大人用・こども用ともに2,000円(利用可能額1,500円、デポジット^{※2}500円)。地下鉄駅の券売機などで購入できませんが、市電車内では購入できませんので、ご注意ください!

その他、ポイントサービスやオートチャージサービスなどもあります。詳しくはSAPICAコールセンター(011-210-3156、9時から20時まで 年中無休)までお問い合わせください。

※1 SAPICAに入金することを「チャージ」といいます。

チャージは、市電車内や地下鉄駅の券売機などで行えます。

※2 デポジットとは、使い捨て防止のための預かり金で、解約時に返金されます。

※3 市電におけるSAPICAの定期券サービスは平成26年2月開始予定です。



<http://www.sapica.jp/>

お知らせ2 「市電の会」賛助会員募集

市電の会では賛助会員を募集しています。市電の好きな方ならどなたでもご入会できます。年会費は、個人1口1,000円から、団体1口10,000円からです。会員になられた方には、会員バッジ(新規会員のみ)、特製ウイズユーカード、会報誌を差し上げるほか、当会のイベント情報を随時お知らせします。

入会をご希望の方は、中央区役所や区内の各まちづくりセンターでお渡しする入会申込書に会費を添えてお申込ください。また、郵便局からの振込みもご利用いただけます。さらに、インターネットによる受付も行っています。詳しくは、中央区ホームページの「市電倶楽部」をご覧ください。

【お申し込み・お問い合わせ】

市電の会事務局

〒060-8612 札幌市中央区南3条西11丁目 中央保健センター6階

札幌市中央区役所地域振興課内(まちづくり調整担当)

TEL(011)205-3221 FAX(011)511-7234

URL <http://www.city.sapporo.jp/chuo/shiden/index.html>

E-Mail ch.shidennokai@city.sapporo.jp

編集後記

長い長い冬が去って、ようやく札幌らしい爽やかな季節となりました。ピカピカの新しい電車がボディに街並みを映して走っています。札幌の市電は市民の足。ぶらりと降りて街並みを散策。古い歴史がある中央区だからこそ、あなただけの発見ができるかも。

会長からひとこと

今年、25年ぶりに新しい電車が導入されました。2年後にはループ化(予定)となり、人の流れ、街の活気、景色が変わってくることでしょ。オリンピックで急激に成長した札幌。今度は電車が札幌を変える時です。環境や人に優しい路面電車で街を拓き、誰もが住みよい街になることを願っています。賛助会員のみなさまのご支援を、これからもよろしく願いいたします。

◀市電の会会長 吉中新太郎▶